

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年5月

西部総合事務所  
日野振興センター日野振興局



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	4 頁
6	現金の取扱状況	1 1 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	1 2 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 4 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	1 6 頁
1 0	職員駐車場の管理状況調べ	1 6 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
1 1	寄附物件の受納状況調べ	1 6 頁
1 2	備品の処分状況調べ	1 6 頁

## 【個別調査事項】

### 地域振興課

1 3	合同庁舎に入居している団体等の調べ	17頁
1 4	主な事務事業の実施状況	17頁
(1)	管内地方機関及び市町村との連携	
(2)	広聴、広報等	
(3)	NPO、ボランティアとの協働	
(4)	国際交流の推進	
(5)	地域振興	
(6)	商工業の振興等	
(7)	農商工連携の推進	
(8)	危機管理の対応	
(9)	その他	

### 農林業振興課

1 3	事業別予算執行状況調べ	19頁
(1)	事業の執行状況	
1 4	用地取得の状況調べ	26頁
1 5	登記の状況調べ	26頁
(1)	登記の状況	
(2)	未登記の解消状況	
1 6	林業改良指導活動状況調べ	27頁

### 農林業振興課農業振興室

1 3	事業別予算執行状況調べ	29頁
(1)	事業の執行状況	
1 4	用地取得の状況調べ	31頁
1 5	登記の状況調べ	31頁
(1)	登記の状況	
(2)	未登記の解消状況	
1 6	林業改良指導活動状況調べ	31頁

### 日野農業改良普及所

1 3	事業別予算執行状況調べ	32頁
1 4	農業改良普及事業	32頁
(1)	普及事業の実態	
(2)	農業改良普及所の担当地区	
(3)	普及活動の重点事項と指導活動状況	
(4)	普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況	
(5)	農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業の設置状況調べ	

○	意見、要望等	35頁
---	--------	-----

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和 4年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員			技術職員			現業職員			合 計	備 考	
		当 年	該 度	3.4.1 現 在	当 年	該 度	3.4.1 現 在	当 年	該 度	3.4.1 現 在			
定 員		12		12	27		27	0		0	39	39	
現 員		( )		( )	(1)		(1)	( )		( )	(1)	(1)	(公財)鳥取県造林公社派遣
過 不 足 (△)		13		13	26		26	0		0	39	39	
臨 時 的 任 用 職 員		1		1	△ 1		△ 1	0		0	0	0	
會 計 年 度 任 用 職 員		0		0	0		0	0		0	0	0	
		3		3	1		4	2		2	6	9	事務員 2 警備員 2 自然保護監視員 1 森林保全巡視指導員 1

4 役付職員の調べ

(令和 4年 5月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
日野振興センター所長	栃本 義博	年 月 1 1	
日野振興局長 兼地域振興課長	(兼) 宮永 二郎	1 1	西部県税事務所日野支所長 危機管理局参事
日野振興局副局長 兼農林業振興課長	若松 理恵	2 0	令和 2年 5月～
地域振興課 参事兼課長補佐	野間 禎治	1 1	
地域振興課 課長補佐	(兼) 前田 世津子	0 1	出納員 西部県税事務所日野支所課 長補佐 西部総合事務所日野県土整 備局課長補佐
地域振興課中山間地域振興 リーダー	(兼) 鈴木 陽子	0 1	中山間振興統括本部課長補佐
地域振興課 課長補佐	宮本 圭子	3 1	
地域振興課 課長補佐	(兼) 藤崎 美保	0 1	西部総合事務所県民福祉局 課長補佐
農林業振興課 課長補佐	小山 敢	2 0	
農林業振興課 課長補佐	大原 守雄	1 1	
農林業振興課 普及主幹	(兼) 田中 寛貫	2 1	農業振興監生産振興課課長 補佐
農林業振興課 課長補佐	(兼) 吉竹 紀幸	0 1	米子工事検査事務所課長補 佐 工事検査課課長補佐
農林業振興課 農業振興室長	(兼) 松原 順子	2 10	西部総合事務所農林局農商 工連携チーム参事 西部総合事務所県民福祉局 参事
農林業振興課農業振興室課長 補佐	坪倉 和明	0 1	
農林業振興課農業振興室課長 補佐	(兼) 三浦 泰忠	2 1	鳥獣対策センター課長補佐 西部総合事務所農林局農商 工連携チーム課長補佐 西部総合事務所県民福祉局 課長補佐 農業振興監生産振興課課長 補佐

日野農業改良普及所長	小林 弘昌	1	1	
日野農業改良普及所 普及主幹	山下 幸司	1	1	
日野農業改良普及所 普及主幹	龜田 修二	3	1	
日野農業改良普及所 普及主幹	(兼) 入江 誠一	2	1	西部総合事務所農林局農商 工連携子一△課長補佐 西部総合事務所県民福祉局 普及主幹
日野振興局参事	田村 裕之	0	1	公益財団法人鳥取県造林公 社へ派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県日野郡連携会議	11	0	0	0	11
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール：17 (パートナーシップで目標を達成しよう)				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>「鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約」(平成27年7月1日発行)による県と日野郡3町の柔軟で機動的な仕組みの中で、圏域における行政サービスの維持及び向上並びに効率的な行政運営を促進することにより、共通する課題を解決し、一体的かつ持続的な圏域の発展に寄与する。</p>					
<p>【根拠】平成26年11月に施行された地方自治法改正による新たな自治体間連携の仕組み「連携協約」制度。地方自治法第252条の2</p>					
(イ) 事業の実施状況					
a 町長・センター所長会議(1回開催)					
<p>若手職員によるプロジェクト企画や地域交通を始めとする課題について情報共有し、日野郡における持続可能な地域づくりについて意見交換した。</p>					
b 副町長・センター所長会議開催(2回開催)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町と県との連携の提案、検討</li> <li>・事業の進捗状況の確認、課題の検討状況の舵取りなど</li> </ul>					
c 主な実施状況					
(a) 事業、活動					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3町若手職員による日野郡「うちまち化プロジェクト」企画チームの発足及び事業企画検討</li> <li>・県・町職員合同研修の開催</li> <li>・発達支援のための個別相談、集団教室の実施</li> <li>・県道の道路維持や除雪の一部を町に委託して実施</li> <li>・除雪機械運転手育成支援のための免許取得費用助成</li> <li>・日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊による侵入防止柵の設置・管理指導</li> <li>・公設塾「まなびや縁側」の運営</li> <li>・日野郡教育ビジョンの策定</li> <li>・災害時の学校給食相互支援の実食訓練(※新型コロナウイルス感染症の影響で中止)</li> </ul>					
(b) 検討、課題研究					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のデジタル化に対応するための先進事例勉強会</li> <li>・新地域交通システムの利用者聞き取り調査及び運行方法の検討</li> <li>・道路維持、除雪のあり方検討</li> <li>・鳥獣被害対策協議会実施隊のあり方検討</li> </ul>					
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長出席の会議を年1~2回程度開催することとしているが、それ以外に日野郡の3町長が参集して郡内の課題を話し合う機会は多くないため、オンライン町長懇談会を開催し、現下の課題や現状をフランクに意見交換する機会を新たに設けた。</li> </ul>					



## ウ 成果及び効果

- ・これまでの圏域教育のあり方の検討や環境整備、日野高校魅力向上推進協議会や日野郡ふるさと教育推進協議会の取組など教育分野における連携を一層推進するため、日野郡3町の教育大綱、教育振興基本計画を結びつける指針の策定が議論されてきた。県は事務局の立場で3町長の合意形成に向けて調整を図り、令和4年1月に『日野郡教育ビジョン』を策定した。
- ・日野郡の若者が「自ら考え、実践し、思いを形にすることが地方自治である」と実感し、地域や自分の町を作っていこうとする機運を高めるための企画を検討・実施する『うちまち化プロジェクト』企画チームが、オンライン町長懇談会での提案を元に令和3年11月に発足し、各町から推薦された若手職員がPT会議で勉強会と事業企画の検討を行っている。

## エ 課題

- ・それぞれの現場で抱える解決すべき課題は多岐にわたるが、連携会議でその解決に向け協議するためには、事務局として各町や地域住民等の思いを適切に把握する必要がある。
- ・令和4年度から公設塾が各町に設置され、各町の思いが一層強く打ち出されことになる。公設塾が高校生の集う場として軌道に乗り、3町連携の『まなびや縁側』として融合するよう必要な支援を行う必要がある。また、『日野郡教育ビジョン』を生かして町を跨いだ合同授業や教職員研修などが進められ、学習成果が児童生徒や保護者、地域住民に実感されるよう、可能な調整や支援を行っていく必要がある。
- ・『うちまち化プロジェクト』企画チームに参集する若手職員3名の意欲は高いが、実務経験や社会経験が不足している側面があり今後の企画、実行には困難が想定される。若手職員の発想を生かした企画が実行され所期の目的を達成するとともに、若手職員が成長を実感できるよう、県は事務局として伴走支援をしていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
日野郡ニューツーリズム推進事業	1,050	0	0	1,050
将来ビジョン	—			
令和新時代創生戦略	SDGsゴール：11（住み続けられるまちづくりを）			
政策項目	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
中山間地域特有の諸問題を抱える日野郡において、地域の関係者と連携し、地域資源を活かした日野郡版ニューツーリズムに取り組む日野郡広域交流促進協議会の活動を支援することで、日野郡の交流人口を増加させ、地域資源の保全や地域活性化につなげる。				
※「日野郡広域交流促進協議会」 行政と観光協会や商工団体等の民間で組織。平成19年設立（事務局は日野振興局）。県の補助金や町の負担金を主な財源として、地域資源の磨き上げ及び情報発信を行っている。				
(イ) 事業の実施状況				
a モニターツアー（磨き上げ事業）→ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止				
b イベントカレンダー「日野軍★秋の陣」の発行（情報発信事業）				
・日野郡の秋イベントを掲載B4両面版 4,100部発行（米子市周辺に新聞折込、公民館への配布等）				
c フリーペーパーを活用した情報発信（3回）（情報発信事業）				
・地域みっちゃく生活情報誌こはく（米子周辺 56,030世帯に無料配布及び1,670部が無料設置）へ情報掲載				
・掲載内容…9月号（日野郡キャンプナビ）/11月号（日野郡秋の観光情報）/4月号（日野郡春のお花見情報） 各号1ページ				
d 日野郡PR映像の作成（磨き上げ事業）				
・アウトドアに着目した日野郡の四季の魅力を伝えるPR映像「日野路往来4SEASONS」を作成し、YouTubeを主体に配信（モニターツアー中止に伴い代替事業として実施）				
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・昨今のアウトドアブームを軸とした、フリーペーパーへの広告掲載やPR映像の作成を行った。				
・新型コロナウイルス感染拡大の影響によるモニターツアーの中止等、商品開発が難しい中、ウィズコロナの社会生活を見据えて情報発信に力を入れることとし、印刷物の発行やフリーペーパー掲載の他、YouTubeへの動画配信等、幅広い情報発信を行った。				
ウ 成果及び効果				
・フリーペーパーによる情報発信では、各号でテーマを絞っての掲載としたことで「参考になった」「行ってみたい」という声をいただいた。				
・高速道路のサービスエリアへも広域観光マップの配架を依頼したところ、何度も追加依頼を受ける等、県外への情報発信に一定の効果があった。				
エ 課題				
・日野郡は人口減少が極めて深刻な状況であるが、地域の活力を維持していくために、地域間交流により交流人口の増加を図り、地域の賑わいを創出することがより一層強く求められている。そのための活動を今後も社会情勢に合わせながら継続していく必要がある。				
・新型コロナウイルス感染症の収束が不透明なことから、大山山麓・日野川流域観光推進協議会等関係団体との役割分担を明確にしなが、近隣地域は元より、SNSの活用等による広域への情報発信等、より効果的に取り組む必要がある。				

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
日野川の源流と流域を守る会	-	-	-	-
将来ビジョン	-			
令和新時代創生戦略	-			
政策項目	-			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
「日野川流域の自然環境を守り、子ども達に美しい日野川をひきつく」ため、森、川、海を守る環境保全活動、流域の歴史や文化を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動を実施する。				
※「日野川の源流と流域を守る会」				
行政、民間団体、及び一般の法人・個人会員で組織。平成14年設立(事務局は日野振興局) 県の補助金や会費を財源として、各事業を行っている。				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源涵養林での森林整備と自然観察 【実施日】令和3年10月2日(土)、参加者8名 【場所】日南町福栄 【内容】間伐作業体験、サクラソウ保全活動視察及び若松川で自然観察を行った。</li> <li>・日野川源流探訪 【実施日】令和3年10月9日(参加者5名)、10月16日(6名)、11月6日(8名) 【場所】日南町新屋 【内容】源流の碑を目指し専門家の解説を受けながら探訪(散策)した。</li> <li>・日野川の風景・魅力再発見ツアー 【時期】令和3年11月20日(土)、参加者10名 【場所】江府町日野川左岸、洲河崎から鉄穴橋までの片道約5キロ 【内容】野鳥の専門家と写真家の方に同行いただき徒歩で散策した。</li> <li>・日野川フォトコンテスト 【時期】募集期間 令和3年5月25日から11月7日(日)まで 【内容】日野川流域の風景、文化、活動などを題材にした写真を募集した。 【応募点数】一般部門15点、スマホ部門16点</li> <li>・日野川フォトコンテスト入賞作品の展示 これまでのコンテストの入賞作品15点を米子市児童文化センター、日南町役場、日野町図書館、米子市立図書館、米子コンベンションセンター、岸本公民館の6か所で巡回展示した。</li> <li>・森と水に親しむ活動支援事業 日野川流域において森や水に親しむ活動や学習活動を実施する団体に補助金を交付した。 2団体 補助額250千円)</li> <li>・会報「ひのがわ」第38号及び第39号の発行(会の活動等の情報発信)</li> </ul>				
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベントが中止を余儀なくされたが、令和3年は、感染状況を注視しながら、秋期に集中的にイベントを実施した。実施に当っては、受付時の検温、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保や現地集合・現地解散等新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した。				
ウ 成果及び効果				
感染予防対策を徹底することによりイベント実施に繋げることができ、次年度以降の開催方法、事業内容を検討する上でのヒントも得ることができた。				
エ 課題				
会の目的である「日野川の自然環境を守り次世代へ継承していくこと」の実現には、会員を増やし、会の活動をより活性化させることが重要である。そのために、「日野川源流と流域を守る会の一層のPR」と「多様で幅広い年齢層の方々が参加できる魅力ある企画の実施」が必要である。				

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
林業成長産業化地域創出モデル事業	39,260	39,260			
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール:15 (陸の豊かさをももろう)				
政策項目	-				

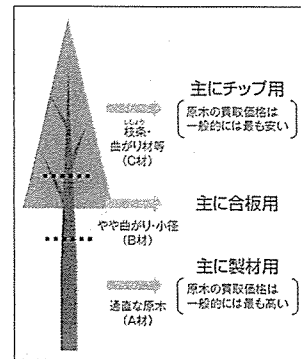
(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- 国の「林業成長産業化地域」に選定された日南町の取組を支援し、木材のカスケード利用を軸とする新たな循環型林業の創出を目指す。(事業期間 H29~R3)

〔参考：木材のカスケード利用〕  
 木材を建材等の資材として利用した後、LVLや合板、紙等の利用を経て、最終段階では燃料等に使うなど、良いものから順々に利用して最後まで余すことなく使い尽す考え方。



(イ) 事業の実施状況

(単位：千円)

主な事業内容	事業費	補助金
コンテナ苗生産基盤施設の整備 (事業主体：(株)ウッドカンパニーニチナン、補助率：国1/2以内)	77,255	33,860
循環型林業の事業化に向けての調査・試験等(補助率：国10/10以内) ・皆伐再造林の効率化を目指すため、広葉樹やC材等の搬出コストの調査、システム構築の検討を行った(事業主体：日南町森林組合)。 ・木質ファイバー(グロウアース)のモニター調査や試験施工、栽培試験等を行い商品化を支援した(事業主体：大建工業株)。 ・不在村地主が所有する山林を町が集約することを目的に、昨年までの不在村者に町内の後継者のいない高齢者も調査対象に加え、新たな課題整理を行った(事業主体：日南町)。	5,890	5,400
計	83,145	39,260

イ 令和3年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- コンテナ苗生産基盤施設の整備については、県、町の単独事業も同時期に実施していたため、適正に執行されるよう町や事業主体を指導した。
- 事業には、森林組合、民間企業、大学等の多数の機関が関わるとともに、複数の事業が同時進行したことから、事業主体や関係者への指導に際して、支援を強化し伴走した。

ウ 成果及び効果

- 循環型林業に必要な苗木生産に向けて、コンテナ苗生産施設が完成した。(生産規模目標：年12万本)。
- 木材のカスケード利用に向けて、木材の高付加価値化に取り組んだ。また、これまで未利用であった樹皮、端材等を有効活用するため、発電・加工施設の整備検討に着手した。
  - 〇防菌・防蟻LVL処理施設(高付加価値化)：令和2年8月完成、令和3年4月にAQ認証取得、本格生産開始
  - 〇木質バイオマス発電(未利用材利用)：現在2業者が日南町内に進出を検討中で、関係者と協議中
  - 〇木質ファイバー(DWファイバー、グロウアース)等製造(未利用材利用)：販路の具体化と試験生産。

エ 課題

- 主な事業地となる「日野川の森林木材団地」の拡張造成が完成したことで、今後整備を予定している施設の事業計画、整備方針について関係者と検討を進める必要がある。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳											
		国庫支出金	起債	その他	一般財源								
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業	450				450								
将来ビジョン	-												
令和新時代創生戦略	SDGsゴール：17（パートナーシップで目標を達成しよう）												
政策項目	-												
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日野郡では、3町と県が締結した「鳥取県日野郡ふるさと連携協定」に基づき、郡内3町、関係団体及び県で構成する「日野郡鳥獣被害対策協議会（以下、「協議会」という。）」を設立し、深刻化する野生鳥獣被害に対し、町を越えた被害対策を展開している。</li> <li>協議会の実働部隊は実施隊であり、4名（R4.3末3名）の実施隊員が各町から併任の辞令を受け、各種研修、調査等の被害防止活動にあっている。被害防止活動推進に要する経費（各種講習会への参加経費、鳥獣被害状況確認に要する経費）の財源は国庫（定額）が主体である。</li> <li>本補助金は、国庫補助事業で支援対象とならない活動経費（協議会の運営及びその実務を担う実施隊の育成経費など）を町と県で連携して支援（町3/4、県1/4）することにより、日野郡における総合的かつ効果的な鳥獣被害対策を推進することを目的とする。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象経費（国庫の対象外となる日野郡鳥獣協議会の活動経費）</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執務室設置及び運営</td> <td>事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等</td> </tr> <tr> <td>公用車借上及び利用</td> <td>車両借上料、燃料費等</td> </tr> <tr> <td>実施隊員育成</td> <td>研修参加旅費、狩猟免許等取得費等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【協議会の主な活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地巡回、被害状況の確認、集落での鳥獣侵入防止柵設置研修会の開催、相談窓口の開設</li> <li>講習会の開催、自治体の視察受け入れ、研修会への参加</li> <li>鳥獣誘因及び捕獲手法の試作、ドローンを活用した被害確認実証、ケーブルテレビ等での広報活動</li> </ul> <p>イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>鳥獣被害対策の技術指導に関する総合窓口として3町の住民からの相談に一元的に対応するとともに、実施隊員のスキルや経験の定着促進に向けた組織体制の見直しについて事務局会で検討を行った。</p> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害防止の巡回及び被害調査の出動回数は年366回*と増加し、地域ぐるみでの侵入防止柵設置への支援のための現地研修会は前年度並の14集落で実施し、被害防止に寄与した。</li> </ul> <p>(*日南町159回、日野町84回、江府町123回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、ケーブルテレビ放送等を活用し、侵入防止柵設置方法の紹介、協議会のPR活動などコロナ渦に対応した新しい広報活動に取り組んだ。</li> <li>日野郡での捕獲が増加しているニホンジカ対策として、森林被害対策検討会に参画し、センサーカメラによる生息状況の確認や造林地での対策手法の検討を行った。</li> <li>クマ出没時の初動対応など危険を伴う活動は2人1組体制で行い、隊員の安全性確保に努めた。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林業への被害が懸念されるニホンジカの捕獲体制づくりや狩猟者の負担となっている捕獲個体の適切な処理方法（焼却施設での焼却や減容化施設の設置など）の検討が急がれる。</li> <li>クマ対策としての放任果樹の除去や侵入防止柵の設置・維持管理など、地域ぐるみの取り組みへの支援が必要である。</li> <li>実施隊員のスキルや経験の定着促進に向けた新体制移行への検討を進める必要がある。</li> </ul>						項目	事業内容	執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等	公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等	実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等
項目	事業内容												
執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等												
公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等												
実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等												

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県農業改良普及事業	2,081	468			1,613
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール 02 飢餓をゼロに				
政策項目	農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				
<p>(概要)</p> <p>本事業に基づいた改良普及員の普及指導計画(作物班2、野菜花き班2、広域果樹班1、畜産班1、総合支援班3)のうち「畜産の継続と発展を目指した担い手育成」(畜産班)について記述する。</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年に新規就農した若手牛繁殖農家は、これまで飼養環境及び飼養技術の改善を図り、子牛の発育が改善され販売価格も県平均程度となった。しかし、経営が安定していないため、更なる子牛の発育改善による販売単価向上と経費削減による経営の安定を図る。</li> <li>管内の酪農家で、繁殖成績が悪く後継牛の確保が十分にできず改善が必要な経営体への指導や、乳量が低下する夏季における暑熱についても対策し繁殖成績向上を図る。</li> <li>管内酪農家3戸については、今後経営継承が行われる予定であるが、個別に事情が異なっているため、それぞれに異なる課題を解決する。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳方法に問題があったため、離乳期間及び哺乳量について改善するとともに経営安定に向け、経営検討会を実施した。</li> <li>繁殖成績改善のため牛群の血液検査を実施すると共に、送風機にインバーターを取り付けるための支援を実施し夏季の牛舎内環境の改善を行った。</li> <li>経営継承に向け、それぞれの酪農家に対し、①活用できる事業の説明②第三者継承に向けた家族内の話し合いの開催③経営コンサルタントとの調整等の支援を行った。</li> </ul> <p>イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜保健所に血液検査を依頼し、牛群の問題点把握を行った。</li> <li>第三者継承に向けた家族内の話し合いを開催し、家族内の意識統一を図った。</li> </ul> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手牛農家は、離乳期間を2週間から3週間に延長し子牛の離乳ストレスを軽減した。当該農家は離乳時の子牛の飼料摂取量の増加を確認することができた。</li> <li>乳牛の血液検査によりβカロチンの欠乏が判明し、添加剤を添加することにより、繁殖成績が改善される傾向がみられた。また、暑熱対策として送風機にインバーターを取り付け、送風量を細かく制御できるようになると共に電気代が削減(夏季：5万円/月)できた。</li> <li>1戸の酪農家親子で経営継承が実施された。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <p>(ア) 目的どおりの成果が得られなかった事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手繁殖農家は、子牛の発育が十分でなく経費も削減できなかったため、所得の確保が十分でなく、経営改善ができなかった。</li> </ul> <p>(イ) 成果は得られたが、さらに経済的・効率的な方法が考えられる事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酪農家は繁殖成績が改善されたが十分でなく、引き続き発情発見率の向上と牛舎内環境の改善が必要</li> </ul> <p>(ウ) 次年度以降、取り組むべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手繁殖農家は所得の確保に向け子牛の発育改善を図ると共に経費削減に取り組む。</li> <li>経営継承を検討している農家に対して、それぞれに引き続き支援を実施していく。</li> </ul>					

6 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
物品売払収入	7,647	9	刊行物、特別栽培シール
雑入	180	3	コピー代、情報開示請求CD-R代、公衆電話料
合 計	7,827	12	

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000
--------	---	----------	--------

7 財産に関する調べ  
 (1) 公有財産  
 ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	所在地	前年度末		本年度末		異動状況		本年度末		備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	異動日	増減別	面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	
行政財産										
計		11,657.31	不明	11,657.31	不明			11,657.31	不明	
普通財産										
計		2,149.54	不明	2,149.54	不明			2,149.54	不明	
合計		13,806.85	不明	13,806.85	不明			13,806.85	不明	

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	所在地	前年度末		本年度末		異動状況		本年度末		備考
		面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	異動日	増減別	面積 (m <sup>2</sup> )	価額 (円)	
行政財産										
計		5,394.29	不明	5,394.29	不明			5,394.29	不明	
普通財産										
計		1,023.71	不明	1,023.71	不明			1,023.71	不明	
合計		6,418	不明	6,418	不明			6,418	不明	

ウ 山林

該当なし



エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・  無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
47枚	枚	枚 円	47枚

8. 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 了 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分 行政財産	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
	駐車場	日野郡日野町根雨 140-1	22.8㎡	R3.3.12	H15.4.1	R3.4.1~ R4.3.31	<del>円・年額</del>	4,508	貸付(使用許可)先 住氏名 鳥取市千代水4-37 (公財)鳥取県造 林公社
	駐車場	日野郡日野町根雨 71-1	10㎡	R3.3.12	H30.3.13	R3.4.1~ R3.5.31	<del>円・年額</del>	327	貸付(使用許可)先 住氏名 鳥取市千代水4-37 (公財)鳥取県造 林公社
	駐車場	日野郡日野町根雨 71-1	10㎡	R3.3.17	H26.4.17	R3.4.1~ R4.3.31	<del>円・年額</del>	2,940	貸付(使用許可)先 住氏名 日野郡日野町根雨 140-1 日野郡鳥獣被害対 策協議会
	現場事務所	日野郡日野町根雨 71-1	170㎡	R3.4.2	R3.4.2	R3.4.6~ R3.8.23	<del>円・年額</del>	38,340	貸付(使用許可)先 住氏名 日野郡日野町下菅 188-1 (有)原明建設
計								46,115	
普通財産									
計								0	
合計								46,115	

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分 行政財産	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
	放射線モニタリングシステム設置	日野郡日野町根雨 140-1	2.63㎡	R3.3.9	H26.2.27	R3.4.1~ R8.3.31	<del>円・年額</del>	0	貸付(使用許可)先 住氏名 原子力安全対策課 使用承認
	ダム放流時通報装置	日野郡日野町根雨 140-1	0.53㎡	R2.12.16	H15.4.1	R3.4.1~ R8.3.31	<del>円・年額</del>	9,960	貸付(使用許可)先 住氏名 広島市中区小町4- 33 中国電力(株)
	設計書閲覧用複写機設置	日野郡日野町根雨 140-1	1.34㎡	R3.2.12	H15.4.1	R3.4.1~ R4.3.31	<del>円・年額</del>	13,280	貸付(使用許可)先 住氏名 倉吉市福庭町2丁 目23 (公財)鳥取県建 設技術センター
	事務室	日野郡日野町根雨 140-1	76.5㎡	R3.3.12	H15.4.1	R3.4.1~ R4.3.31	<del>円・年額</del>	255,640	貸付(使用許可)先 住氏名 鳥取市千代水4-37 (公財)鳥取県造 林公社
	事務室	日野郡日野町根雨 140-1	18㎡	R3.3.17	H26.3.28	R3.4.1~ R4.3.31	<del>円・年額</del>	89,640	貸付(使用許可)先 住氏名 日野郡日野町根雨 140-1 日野郡鳥獣被害対 策協議会
計								368,520	
普通財産									
計								0	
合計								368,520	

## (2) 物品

(令和4年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
天体望遠鏡	1台	VIXEN ホルタ II A80Mf	R3.7.21～ R3.7.26	月額・年額	無料	米子市西福原3-3-TYNT第4ビル202 (株)スマイルキューブ	鶉の池公園キャンプ場	天体観測で使用	
天体望遠鏡	1台	VIXEN ホルタ II A80Mf	R3.8.6～ R3.8.10	月額・年額	無料	日野郡江府町江尾47-15 こうふくらしっく	エバーランド奥大山	「星をみる会」で使用	
双眼鏡	3台	VIXEN Z8×24	R3.8.6～ R3.8.10	月額・年額	無料	日野郡江府町江尾47-15 こうふくらしっく	エバーランド奥大山	「星をみる会」で使用	
合計									

9 借受不動産明細調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は積面	契約書の有無	契約の状況			借受先		備考
						借受期間	借料(円)		住所名	氏名	
							単価	本年度の借料			
土地	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-2, 1-4	1,636.97㎡	有	H17.8.1 ~ R4.3.31	月額・年額 無料	無料	江府町大字江尾1717-1 神奈川財産区管理者 江府町長	自動更新	
	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-3, 足奥谷048-10	309.60㎡	有	H17.8.1 ~ R4.3.31	月額・年額 無料	無料	江府町大字江尾1717-1 江府町長	自動更新	
	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-1	854.00㎡	有	R1.10.1 ~ R6.9.30	月額・年額 無料	無料	鳥取市吉方109 鳥取森林管理署長		
	雑種地	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-8	147.60㎡	有	H17.8.1 ~ R4.3.31	月額・年額 1,800	1,800	鳥取市新品治町1-2 中国電力(株)鳥取支社長	自動更新	
	保安林	船通山制札版用地	日南町大字上萩山滑鉄所1739-4	6.00㎡	有	H17.11.10 ~ R4.3.31	月額・年額 無料	無料	個人(3名)	自動更新	
その他 構築物	原野	鍵掛峠園地事業	江府町大字御机字大平原837-5	6.93㎡	有	H17.6.22 ~ 園地事業廃止まで	月額・年額 無料	無料	江府町大字江尾1717-1 米澤財産区管理者 江府町長		
	電柱	防災行政無線ケーブル添架	日野郡日野町根雨地内	1条	有	H15.3.7 ~ R4.3.31	月額・年額 880	880	岡山市北区中山下2-1-90 西日本電信電話(株)岡 山支店		
	電柱	電源用ケーブルの添架	江府町御机地内	1本 1条	有	H17.7.22 ~ R4.3.31	月額・年額 1,320	1,320	岡山市北区中山下2丁目 1-90 西日本電信電話(株) 岡山支店長	自動更新	
合計								4,000			

10 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

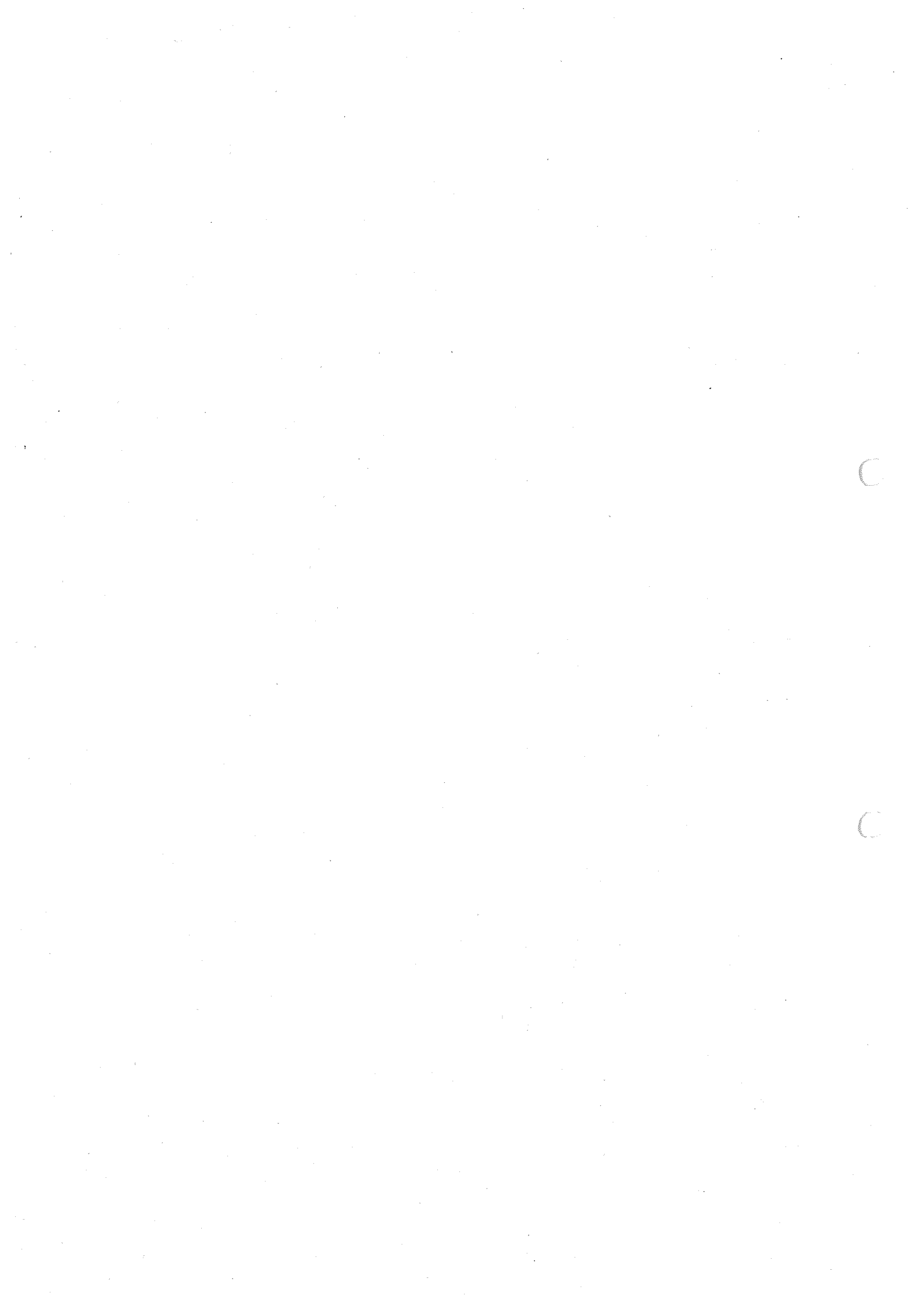
11 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

12 備品の処分状況調べ

該当なし

# 地域振興課



1.3 合同庁舎に入居している団体等の調べ

(令和4年3月31日現在)

団体名	職員数 人	当初入居 の年月日	面積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	許 可 使用料 (月又は年額) 円	減免 率 %	共 益 費 の 方 法 負 担 方 法	備 考
(公財)鳥取県 造林公社	7	H15.4.1	76.5	10.9	255,640	66	上下水道：人数 割、電気：面積割	
日野郡鳥獣被 害対策協議会	3	H26.3.28	18	6	89,640	50	上下水道：人数 割、電気：面積割	

1.4 主な事務事業の実施状況

(1) 管内地方機関及び市町村との連携

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(2) 広聴、広報等

① 県政相談等の処理

該当なし ※県民の声「要留意」分を除く

② 県政に係る広聴

該当なし

③ 情報公開・個人情報保護

- ・公文書開示請求 1件
- ・個人情報開示請求 該当なし

④ 行政手続きに係る事務処理

該当なし

(3) NPO、ボランティアとの協働

該当なし

(4) 国際交流の推進

該当なし

(5) 地域振興

① 中山間地振興

ア 集落支援

2年間の集落支援で機運醸成の仕組み（座談会、アクション型リサーチ、夢マップ）と取り組み課題のカタログ化「夢ビジョン」で住民の主体的なやる気づくりを行いながら、下記の3地区を重点支援地区として事業開始につなげた。

(江府町柿原集落)

- ・竹害を起こす竹を地域資源に変え、被害の解消と景観形成、協働作業による地域のつながりの再構を行った。

(日野町菅福地区)

- ・先進地視察や地域づくり研修を通じて地域課題を整理し、世代間交流会、旧福榮小学校舎を活用した写真展等を実施しながら「小さな拠点づくり」を進めた。

(日南町阿毘縁地区)

- ・阿毘縁特産グループを中心に高齢者の生きがいや健康づくり事業を実施した。併せて、地元の小学生や他出子（集落で生まれ育ったが、仕事などの事情で外に暮らしている子ども）との体験交流を行いふるさとに帰ってくる、住み続ける人材づくりにつなげた。

イ 人づくり

住み慣れた地域で暮らし続けるために共同作業やイベントを実施し、他出子、関係人口とつながりを深め、故郷への思いを強くしてもらい、地域を守っていく支援につなげた。他出子については、集落支援地区（湯河、諏訪、宮市原）で実施した。

（支援例：江府町宮市原集落）

- ・高齢者でもできる共同作業（花植え）を通じてつながりの再構築し、花による景観整備で美しい宮市原をPRしながら関係人口づくりに取り組んだ。

ウ 日野川の源流と流域を守る会 「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

② 定住促進

管内3町に対して、移住定住施策の推進に係る相談受け入れや助言を行うとともに、移住定住推進交付金や空き家確保支援補助金により取り組みの支援を行った。

（単位：千円）

	日南町		日野町		江府町	
	件数・戸数	県負担額	件数・戸数	県負担額	件数・戸数	県負担額
移住選任相談員の配置	1件	1,000	1件	1,000	—	—
移住者のための空き家改修補助	2件	500	2件	680	3件	968
移住者のための空き家家財道具処分補助	4件	465	1件	184	1件	100
お試し住宅の整備	—	—	—	—	—	—
空き家修繕費概算見積り委託	—	—	—	—	—	—
移住受入地域組織・団体の立ち上げ支援	1件	2,000	—	—	—	—
合計 (前年度)		3,965 (2,350)		1,864 (1,000)		1,068 (1,600)

③交流促進・観光振興

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(6) 商工業の振興等

該当なし

(7) 農商工連携の推進

該当なし

(8) 危機管理の対応

- ① 災害対策本部運営、情報連絡員業務要項、消防計画、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、豚熱、原子力防災等のマニュアル整備
- ② 情報連絡員、鳥インフルエンザ等家畜伝染病、原子力防災等の研修・訓練の実施

(9) その他

①窓口受付件数

業務名	相談区分			受付 (D)	合計 (C) + (D)
	窓口 (A)	電話 (B)	小計 (A) + (B) (C)		
税務	111件	0件	111件	83件	194件

②犬、猫の引取件数（西部生活環境局へ引き渡し）

区分	件数	頭数
犬	0	0頭
猫	0	0頭



# 農 林 業 振 興 課



1.3 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	林業振興費 (現年)	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
竹林整備事業	放置竹林の有効活用による竹林の適正な管理を実施するため補助する。 ○事業実施 1箇所 0.14ha	
森林整備担い手育成総合対策事業	林業の新規就労者に対する研修の実施を通じて、担い手を育成・確保することを目的とし、OJTの研修を実施することにより、新規就労者の技術等の向上を図る。林業事業体が雇用する林業労働者に係る社会保険料の事業主体負担に要する経費及び安全衛生技能講習の受講等に要する経費を助成する。  ○労働安全衛生環境の整備、福利厚生等の充実が図られ、更に林業労働者を育成・確保しやすい環境が整った。 ・緑の雇用 久代林業1名、中部林産(株)3名 日南住設4名 ・木材運搬等効率改善事業 3名 ・社会保険料掛金助成事業 延べ15名 ・安全衛生技能講習支援事業 延べ1名 ・コンクリート等資材購入費助成 22.25m <sup>3</sup> ・安全・安心を確保するための装備・器具等購入費助成事業 85個	
きのこ王国とっとり推進事業	原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保を行う生産者等の取組を支援する。  ○きのこ王国ととりの推進が図られた。 ・原木安定供給支援 鳥取式作業道 100m ・生産拡大支援 植菌本数 4,668本	
森林資源デジタル管理推進対策事業	レーザ計測データを活用した路網設計を支援するソフトウェアの導入に対し支援し、効率的な路網整備を推進する。  ○森林作業道等の路網整備による森林整備を主とする日南町森林組合がソフトウェアを導入し、路網整備に係る一層の効率化と、災害に強い路網の計画の推進が図られることとなった。 ・路網計画支援ソフト(FRD)の導入一式 (ソフトウェア購入、ライセンス取得、データ整備)	
未来の林業を担う即戦力人材確保育成事業	森林及び林業に関する知識及び技術を習得し、将来的に林業の中核を担うことが期待される人材を育成する。  ○林業への就業意欲を喚起し、新規就業者の確保を図ることができた。 ・緑の青年就業準備給付金 給付金受給者 12名 林業分野への就業予定者 12名 給付金給付額 16,002,000円(1,333,500円/人) ・安全衛生技能講習等支援 対象とする講習数 13	

鳥取県即戦力人材育成 確保支援事業	<p>県内の林業事業体へ就業を予定しているにちなん中国山地林業アカデミーの研修生に準備金を支給する日南町を支援する。</p> <p>○森林及び林業に関する知識及び技術を習得した人材を育成・確保し、本県の林業、木材産業等の振興を図ることができた。</p> <p>実績額 346,000円 県内就業予定者 8名</p>
低コスト林業機械リース等支援事業	<p>機械化の整備により生産性向上及び労働負荷、搬出コストを低減し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と間伐材の有効利用を図るため、高性能林業機械の購入又はリース・レンタルに係る経費への助成。</p> <p>○高性能林業機械の導入およびリースにより、森林の適正管理と素材生産量の確保に寄与した。</p> <p>・リース：グラブ<sup>®</sup>ル<sup>®</sup>-1台 バック<sup>®</sup>1台 フォワード<sup>®</sup>4台 トラック<sup>®</sup>1台 ・購入：フェアバンク<sup>®</sup>2台 トラック<sup>®</sup>2台 フォワード<sup>®</sup>1台</p>
森林整備のための地域 活動支援事業	<p>森林所有者又は森林経営の委託を受けた者による計画の作成、森林施業の集約化、並びに森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動に対する支援。</p> <p>○日野町、江府町において森林経営計画作成同意を森林所有者から取得し、次年度の森林経営計画作成の足がかりとなった。</p> <p>・森林経営計画作成促進・・・日野町 72.25ha、江府町 138ha</p>
間伐材搬出等促進事業	<p>間伐材の原木市場、製材加工施設等への出荷・販売に要する経費の助成。</p> <p>○事業を実施したことにより間伐が進み、資源の有効利用が図られた。</p> <p>・実施事業体数 6事業体 ・搬出材積 62,163,874m<sup>3</sup></p>
路網整備推進事業 (林業再生事業)	<p>高密度路網の整備により、森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図る。</p> <p>○森林の集約化と、適正管理のための基盤整備を行い、森林資源の有効利用に寄与した。</p> <p>・林業専用道作設 2路線 1,800m ・補強 2箇所</p>
とっとり県民参加の森 づくり推進事業	<p>森林を守り育てる意識を醸成するための森林企画体験等を支援。</p> <p>○2団体が森林教室や源流探訪を行い、森林を守り育てる意識が育てられた</p>
森林作業路網災害復旧 対策事業	<p>令和3年度中に発生した豪雨により被災した森林作業道及び林業専用道（規格相当）の復旧を支援。</p> <p>○被災した森林作業道及び林業専用道（規格相当）の復旧が図られた。</p> <p>・支援内容：日野町（1路線）、日南町（2路線）</p>
林業種苗安定供給に資 する連携活用施設等整 備事業	<p>民間事業者及び鳥取県山林樹苗協同組合が連携して活用可能なコンテナ苗生産施設等の整備に対する支援。</p> <p>○コンテナ苗生産施設の整備が図られた。</p> <p>・作業棟、発芽庫、苗木越冬用スペース、充実種子選別機、半自動式播種機</p>

林業成長産業化地域創出モデル事業	5 主な事業に関する調べに記載
------------------	-----------------

目 名	林業振興費(明許)	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
路網整備推進事業 (林業再生事業)	<p>高密度路網の整備により、森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図る。</p> <p>○森林の集約化と、適正管理のための基盤整備を行い、森林資源の有効利用に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業専用道作設 2路線 1,477m</li> </ul>	
林業・木材産業強化総合対策事業 (鳥取県合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業)	<p>「総合的なTPP等関連政策大綱」(平成27年11月25日TPP総合対策本部決定)に即し、合板・製材・集成材等の競争力を高めるため、間伐材の生産、不良木の淘汰、支障木やあばれ木等の伐倒、搬出集積等の実施に要する経費に助成を行うことにより、原木供給の低コスト化等を通じた体質強化を図る。</p> <p>実績</p> <p>○管内の間伐材生産及び拠点施設への販売を促進し、地域材の競争力強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐材生産 24.84ha</li> <li>・森林作業道整備 5,943m</li> </ul>	

目 名	森林病虫害防除費(現年)	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
ナラ枯れ対策事業	<p>ナラ類の枯れの原因となるカシノナガキクイムシの駆除とまん延防止を支援した。</p> <p>○管内3町において以下の実施を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江府町及び日野町において被害木374本(立木くん蒸、立木シート被覆)、62.8m<sup>3</sup>(伐倒搬出)を駆除し、森林の機能確保に寄与した。</li> <li>・日南町において、ナラ枯れの拡大を防止するためナラ林17.47haを皆伐更新し、若返りを図った。</li> </ul>	

目 名	森林病虫害防除費(明許)	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
ナラ枯れ対策事業	<p>ナラ類の枯れの原因となるカシノナガキクイムシの駆除とまん延防止を支援した。</p> <p>○江府町において以下の実施を支援し、森林の機能確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の被害木143本(立木シート被覆)、45.7m<sup>3</sup>(伐倒搬出)を駆除</li> </ul>	

目 名 造林費（現年）		（令和4年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和3年度生山採種園維持管理業務	<p>県営生山採種園の維持管理に必要な薬剤散布、下刈及び断幹を実施。</p> <p>○林内片付け0.5ha, 下刈り4.74ha, 薬剤散布1,224本（2種・4回）、断幹148本、施肥153本</p>	
造林事業	<p>森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。</p> <p>○森林の有する多面的機能の維持・増進及び森林経営計画に基づく施業の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境保全直接支援事業 64.07ha</li> <li>・農山漁村地域整備交付金 1.24ha</li> </ul>	
先進的造林技術推進事業	<p>林業の効率化・低コスト化の推進を図るため、造林事業へのリモートセンシング技術の活用実証に対し支援する。</p> <p>○下刈りの実施状況を従来のGPS測量からドローン測量にすることにより労力軽減が図られ、林業の効率化・低コスト化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造林地（コウヨウザン）の下刈り 0.6ha</li> <li>・機械器具の整備 ドローン1台、ソフトウェア一式</li> </ul>	

目 名 造林費（明許）		（令和4年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
造林事業	<p>森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。</p> <p>○森林経営計画における施業の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境保全直接支援事業 465.18ha</li> <li>・農山漁村地域整備交付金 0.9ha</li> </ul>	

目 名	林 道 費 (現年)	(令和4年5月31日現在)
事 業 名	事業の概要(目的、実績等)	
森林環境保全整備林道事業	<p>とっとり森と緑の産業ビジョンによる持続可能な森林経営の確立を推進するとともに、適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図るため、森林整備を効率的に行う上で不可欠な、林内路網の幹線である林道(森林基幹道・林業専用道)の整備を行う。</p> <p>○県営 森林基幹道 窓山線(新屋工区) 道路工 L=361m</p> <p>○県営 森林基幹道 行者山線(赤谷工区) 道路工 L=500m</p> <p>○県営 森林基幹道 大平線 PCB 調査 1号基</p>	
農山漁村地域整備交付金事業	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。</p> <p>○県営 森林基幹道 宝仏山2号線(金持工区) 土工 L=100m</p>	
林道改良事業	<p>既設林道の機能向上のため、法面の改良及び道路の改良を行う。</p> <p>○県営 森林管理道 大平線 道路改良 L=45m</p> <p>○団体営 森林管理道 稲吉本谷線(米子市)、朝刈線(日野町) 森林基幹道 船通山線(日南町)</p>	
林道点検診断・保全整備事業	<p>既設林道について、橋りょう等の点検診断を行う。</p> <p>○団体営 森林管理道 坂郷線(日南町)</p>	
育成林整備事業	<p>適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図るため、効率的な森林整備に不可欠な林内路網の幹線である森林管理道の整備を図る。</p> <p>○団体営 森林管理道 内方線(日南町)</p>	
県単林道事業	<p>県が管理している林道の維持・補修を実施。</p> <p>○維持 森林基幹道 宝仏山2号線、行者山線、宝仏山1号線 3路線</p>	

目 名	林 道 費 (明許)	(令和4年5月31日現在)
事 業 名	事業の概要(目的、実績等)	
森林環境保全整備林道事業	<p>とっとり森と緑の産業ビジョンによる持続可能な森林経営の確立を推進するとともに、適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図るため、森林整備を効率的に行う上で不可欠な、林内路網の幹線である林道(森林基幹道・林業専用道)を整備する。</p> <p>○県営 森林基幹道 窓山線(新屋工区) 道路工 L=341m</p>	
農山漁村地域整備交付金事業	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。</p> <p>○県営 森林基幹道 宝仏山2号線(金持工区) 道路工 L=182m</p>	
林道改良事業	<p>既設林道の機能向上のため、法面の改良及び道路の改良を行う。</p> <p>○県営 森林管理道 大平線 道路改良 L=500m ○団体営 森林管理道 船通山線 法面改良 L=71m</p>	
林道点検診断・保全整備事業	<p>既設林道について、橋りょう等の点検診断を行う。</p> <p>○団体営 伯耆町 2橋、1トンネル</p>	
道整備交付金林道整備事業	<p>とっとり森と緑の産業ビジョンによる持続可能な森林経営の確立と、適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図るため、この窓山周辺に存在する豊富な森林資源を有効的に活用するための森林施業を効率的に行う上で不可欠な、林内路網の幹線である森林基幹道を整備するもの。</p> <p>○県営 森林基幹道 行者山線(大木屋工区) 道路工 L=436m</p>	
県単林道事業	<p>県が管理している林道の維持・補修を実施。</p> <p>○補修 森林基幹道 窓山線 1路線、森林管理道 大平線 1路線 維持 森林基幹道 宝仏山2号線</p>	



目 名	林道施設災害復旧費（現年）	（令和4年5月31日現在）
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
林道施設災害復旧事業	<p>令和3年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。</p> <p>○7月豪雨災害(R3.7.7~7.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県営林道 <ul style="list-style-type: none"> <li>太平線 2箇所</li> </ul> </li> <li>・団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>南部町 母塚山線外1路線 2箇所</li> </ul> </li> </ul> <p>○8月豪雨災害(R3.8.13~8.15)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>大山町 高橋線 1箇所</li> <li>南部町 鎌倉山線 2箇所</li> <li>日南町 大林線ほか1路線 3箇所</li> </ul> </li> </ul>	

目 名	県営林特別会計 保育事業費（現年）	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和3年度板井原県有林間伐・管理作業	板井原県有林内で間伐、作業道開設、集材を実施。 ○間伐10.72ha, 集材575.864m <sup>3</sup> , 作業道開設1,026m	

目 名	県営林特別会計 立木処分費（現年）	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和3年度板井原県有林間伐・管理作業	板井原県有林内で間伐した材を市場等へ運搬し販売。 ○一般材積込・運搬507.654m <sup>3</sup>	

目 名	県営林特別会計 管理事業費（現年）	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和3年度板井原県有林間伐・管理作業	板井原県有林内の維持管理のため、林道除草、作業道除草、側溝清掃、暗渠呑口土砂除去等を実施。 ○林道除草5,583m, 作業道除草22,044m <sup>2</sup> , 側溝清掃328m, 暗渠呑口土砂除去5箇所等	
板井原県有林作業道修繕事業	作業道の残土処理場で生じた暗渠閉塞を修繕するため、排水施設等の施工を実施。 ○大型フリューム16m、横断溝8m、U型カルバート34.1m、集水柵2箇所、暗渠排水管68m、ふとん籠一式、振止めコンクリート一式	

1.4 用地取得の状況調べ  
該当なし

1.5 登記の状況調べ  
(1) 登記の状況  
該当なし

(2) 未登記の解消状況  
該当なし

1 6 林業改良指導活動状況調べ

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
森林経営管理制度の推進	6市町(市町の委託先を含む) ・江府町 ・日野町 ・大山町 ・南部町 ・伯耆町 ・米子市	<p>《江府町森林整備中長期計画の実行支援》</p> <p>◇集積計画作成、境界明確化、弱度間伐に係る工程、歩掛情報収集及び委託業務発注の支援</p> <p>◇推進センターとQGISの操作指導</p> <p>◇日野郡3町、推進センターの意見交換</p> <p>◇江府町と歩掛の打合せ</p> <p>・推進センター、江府町と集積計画作成の打合せ</p> <p>《日野町森林整備中長期計画の作成支援》</p> <p>◇町、推進センターとの打合せ</p> <p>・町が譲与税を財源に町内の森林の集約化を森林組合にお願いすることの合意形成</p> <p>11/17 町に森林経営管理制度を改めて説明、来年度地域林政アドバイザーの設置を検討</p> <p>《南部町の再ゾーニングと合意形成》</p> <p>◇R2年度取組状況の聞取</p> <p>◇森林経営管理制度に関する参考資料の提供</p> <p>《その他の市町への支援》</p> <p>◇市・西部森林・西部事務所・日野局の意見交換</p>	<p>《江府町森林整備中長期計画の実行支援》</p> <p>・集積計画作成委託およびその後の間伐に向けた情報提供などを行い、委託業務の歩掛検討を行った。</p> <p>《日野町森林整備中長期計画の作成支援》</p> <p>・概ね中長期計画が作成できた。意向調査、集積計画作成、間伐まで実施することができた。</p> <p>《南部町の再ゾーニングと合意形成》</p> <p>《その他の市町への支援》</p> <p>・町のマンパワー不足が原因で森林経営管理制度の進捗が上がないことから、地域林政アドバイザー制度について情報提供し、活用を検討することとなった。</p>

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
森林施業・作業システムのゾーニング	・日南町森林組合	<p>《皆伐再造林等に係るゾーニング》</p> <p>◇日南町森林組合聞取り</p> <p>・タワーヤードは皆伐利用、重機による機械地拵え</p> <p>・機械を入れるには路網が必要という矛盾</p> <p>・森林組合は、施業方針、作業システムを明確にできない状態</p> <p>・日南町内H27～R2年度の新植箇所をGISに掲載</p> <p>◇日南町内の皆伐適地抽出</p> <p>・「災害リスク×効率性区分図(林試作成)」と「地質と傾斜」を考慮したゾーニング</p> <p>◇林業試験場からゾーニングデータを取得</p> <p>・経済性、山地災害リスクを考慮し、皆伐適地を検証</p> <p>◇山地災害リスクの判定項目について日野町有林(皆伐希望地)を判定</p> <p>《タワーヤード作業適地検討》</p> <p>◇林業試験場等との連携</p> <p>・林試、中部、八頭事務所の協力連携</p>	<p>《皆伐再造林等に係るゾーニング》</p> <p>・山地災害リスクの判定結果をレーザー航測による森林資源データに重ね合わせて見える化図面を作成し、皆伐再造林の施業地を検討できた。</p> <p>《タワーヤード作業適地検討》</p> <p>《タワーヤード利用のための環境整備(幹線)》</p> <p>・タワーヤードの作業適地を見える化しることにより、作業区域の検討材料とすることができた。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・林試から臨時予備調査報告書（R2年度）、作業ポイントデータを取得（八頭森林データ：間伐利用）</li> <li>・ゾーニング手法のイメージを林試から入手 (架線：林道から350m、傾斜35～40)</li> <li>・中部森林への林試調査に同行</li> </ul>	
--	--	---	--

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
作業環境や作業の質的向上による生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日南町森林組合</li> <li>・鳥取日野森林組合</li> <li>・鳥取県西部森林組合</li> <li>・大山森林組合</li> <li>・中部林産（株）</li> <li>・御神山業</li> <li>・久代林業</li> <li>・（有）日南住設</li> </ul>	<p>《ウィンチ集材による効率性アップ》</p> <p>◇過年度研修等におけるウィンチ集材システムの情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取日野森林組合施業地におけるチョーカーシステム施業地調査及び聞き取り</li> </ul> <p>◇チョーカーシステム説明用チラシ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取日野森林組合ウィンチ集材現地視察。</li> </ul> <p>《車両系機械集材に係る路網プランナーの育成指導》</p> <p>◇鳥取日野森林組合管内の作業道拾い出し及び森林経営計画との照合</p> <p>《安全性向上による作業環境の改善》</p> <p>◇安全装備に係るリストを作成</p> <p>◇林業事業体の施業地において、労働災害発生事案集配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に伐倒作業時の労災に注意するよう指導。</li> <li>・西部森林組合にチェーンソーブーツの活用について聞き取り。（8/20）</li> </ul> <p>→安全大会や研修で何度も見たが、履こうという気にならない。新しく買った者は履いている者もいるが、着用については各自の判断に任せている。</p>	<p>《ウィンチ集材による効率性アップ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィンチ集材により効率化を図っている鳥取日野森林組合の施業地を調査し、現状を確認した。</li> <li>・現地調査の結果を取りまとめ、作業の紹介用チラシ作成を行った。</li> </ul> <p>《車両系機械集材に係る路網プランナーの育成指導》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路網作成支援ソフト（FRD）を使用した路網提案を行った。</li> </ul> <p>《安全性向上による作業環境の改善》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストを作成し、2社に配布したところ、安全対策等が一覧になっていることで、注意すべきところが見易いとの意見を得た。</li> </ul>

# 農業振興室



1.3 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費 (現年)	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
がんばる農家プラン事業	<p>意欲ある農業者等が作成した、生産販売等に係る地域の特色を活かした改善計画 (プラン) に対して、実現に必要な支援を町とともにやり、地域農業の振興と活性化を図る。</p> <p>○審査会：1回開催 (プラン認定新規1件)</p> <p>○事業実施：日南町6件</p>	
中山間地域を支える水田農業支援事業	<p>県内の中山間地域集落において、認定農業者ではないが、小規模な集落単位等で農作業を一手に引き受け、地域の担い手として水田農業を支えている中・小規模農家が行う機械整備等を支援する。</p> <p>○事業実施：日野町1件</p>	
スマート農業社会実装促進事業	<p>高齢化等による担い手の減少が進む中、持続可能な農業を実現するため、スマート農業の実践に必要な農業用機械等の導入、ドローンの操作講習等に係る経費を支援する。</p> <p>○事業実施：日野町4件</p>	
新規就農者総合支援事業 (就農条件整備事業)	<p>将来、本県の効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのにふさわしい青年等の就農の促進及び自立を支援するため、新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図ることを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町2件</p>	
新規就農者総合支援事業 (就農応援交付金)	<p>新規就農者の経営が早期に安定し、これらの者が本県の農業の担い手として定着することを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町1件</p>	
集落営農体制強化支援事業	<p>集落営農において機械施設の整備等を支援するとともに、組織の継続性の確保と集落農地の維持が出来る体制づくりを図り、次世代への運営の継承を円滑に進める。</p> <p>○事業実施：日南町3件、江府町2件</p>	
多様な担い手づくり支援事業	<p>人・農地プランに位置付けられた地域の経営体等が、農産物の生産等のための施設・機械等を整備する場合に支援する。</p> <p>○事業実施：日南町1件 (2経営体)</p>	

目 名	農業金融対策費（現年）
-----	-------------

（令和4年5月31日現在）

事業名	事業の概要（目的、実績等）
農業近代化資金等利子補給事業	<p>認定農業者が効率的・安定的な経営体を目指し、農業近代化資金、農業経営基盤強化資金等を借り受ける場合に、利子負担を軽減することにより、経営の安定化を図ることを目的に支援を行う。</p> <p>○事業実施：日南町6件、江府町3件</p>

目 名	農作物対策費（現年）
-----	------------

（令和4年5月31日現在）

事業名	事業の概要（目的、実績等）
大雨被害農作物緊急防除対策事業	<p>令和3年7月豪雨による農業被害が発生したことから、生産者が安心して継続的に生産活動ができるよう、緊急的に病虫害防除及び除草対策の支援を行う。</p> <p>○事業実施：鳥取西部農業協同組合（日南町、日野町、江府町）</p>
鳥取県鳥獣被害総合対策事業	<p>野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、有害鳥獣捕獲等を支援する。</p> <p>○事業実施：日南町、日野町、江府町</p>
鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金	<p>野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、ニホンジカ有害捕獲、被害防止技術の指導普及を担う鳥獣被害対策実施隊の活動等を支援する。</p> <p>○事業実施：日南町、日野町、江府町、日野郡鳥獣被害対策協議会</p>
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業	5 主な事業に関する調べに記載

目 名	農作物対策費（明許）
-----	------------

（令和4年5月31日現在）

事業名	事業の概要（目的、実績等）
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	<p>国事業の産地パワーアップ事業を活用して、県が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益な野菜・花き等のハウス栽培品目の生産振興を図る。</p> <p>○事業実施：日南町農業再生協議会</p>



1 4 用地取得の状況調べ  
該当なし

1 5 登記の状況調べ  
(1) 登記の状況  
該当なし

(2) 未登記の解消状況  
該当なし

1 6 林業改良指導活動状況調べ  
該当なし



# 日野農業改良普及所



1.3 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業改良普及費	(令和4年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業	改良普及員が普及指導計画に基づき、新品種・新技術の普及や技術改良指導及び地域農業振興について助言や支援を計画的に行った。 ※「5 主な事業に関する調べ」に記載	

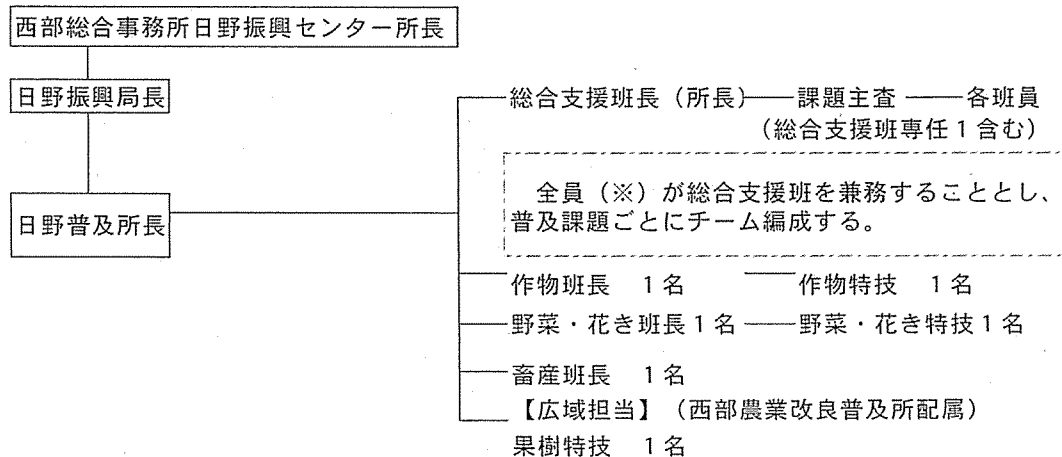
1.4 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

「地域を担う農業者の育成・自立」をミッションに掲げ、担い手農業者等の経営発展と新規就農者の育成、農畜産物の安定生産、地域農業の振興等について活動を行った。

イ 活動体制



(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和4年5月31日現在)

市町村名	担 当 地 区 の 状 況							
	田 ha	畑 (樹園地、牧草地含む) ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
日南町	1360	143	1510	676	54	218	7,464	148,916
日野町	361	45	406	255	64	39	0	0
江府町	552	204	552	416	130	25	0	0

注1 耕地面積、販売農家数は農林水産省ホームページ「わがマチ・わがムラ」各町基本情報による耕地面積は令和元年値、販売農家数は平成27年値

注2 家畜頭数は普及所畜産班調べ(令和3年1月31日現在)による。(ただし、乳・肉用牛は親牛とする。)

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
中山間地での星空舞の生産振興	星空舞栽培農家 78戸 59ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培基準の徹底と適期管理の推進を図った。</li> <li>高標高（標高300m以上）の栽培適性確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高300m以上でも収量性や品質に問題がなかった。</li> <li>県全体の推進地区が標高500mまでに拡大した。</li> </ul>
中山間地に適応した水田農業の担い手育成	日野郡中山間営農ネットワーク協議会 水田農業担い手 重点対象：3経営体	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野郡中山間営農ネットワーク協議会への運営と主要3課題（人材確保・省力化・農地利用）に対する支援を行った。</li> <li>重点対象3経営体に対する個別目標解決や水稲反収向上に向け支援した。</li> <li>各地域の課題解決に向け、集落座談会などに参加し、助言・支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野郡中山間営農ネットワーク協議会の人材確保の取組みに関して、普及所から日野高校との連携について提案を行った結果、具体的な取り組み（事業所説明会への参加、雇用体制の見直しなど）へ結びついた。</li> <li>重点対象のM法人に対して、管理技術について総合的な指導を行い、増収や高品質生産に対する意欲が向上し、水稲反収が516kg/10a（前年367kg/10a）となった。</li> </ul>
日南トマトの産地強化	日南トマト生産部（48戸） 重点対象：11戸（新規就農者3戸を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日南トマトン情報（技術情報紙）を作成し、リアルタイムの情報提供を行った。</li> <li>青年部会員が各自目標を明確に栽培に取り組んでおり、達成に向け個別支援した。</li> <li>反収10t達成者の育成に向け、青年部以外の技術支援を行った。</li> <li>クロマルハナバチ導入の要望に対し現地試験を行った。</li> <li>産地ビジョンについて部会と協議するとともに、選果場新設に係る検討会に出席し助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会販売額は計画を上回る1.79億円（過去3番目）、反収9.3t（過去最高）の成績を収めた。</li> <li>青年部の技術力が向上し、反収10tを超える会員が6名となった。</li> <li>天候不順に悩まされながらも5名が10t以上となり、部会全体で25%弱が達成した。</li> <li>想定される導入時期が高温のため十分な効果が得られないとの結論に至った。</li> <li>産地ビジョンが完成し、選果場は改修の方向性で決定した。</li> </ul>
白ねぎ、ピーマン等の生産性向上と産地維持	日南支所白ネギ生産部（18戸） 日野町蔬菜園芸部会（8戸） 江府町白ネギ生産部（14戸） JA鳥取西部ピーマン生産部会（42戸） 重点対象：6戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>白ネギの定植作業の軽労化を図るため、チェーンポット栽培を推進した。</li> <li>ピーマン新品種グッピーの普及を図った。</li> <li>ピーマン、白ネギPRチラシを各町報を活用して全戸配布して新規栽培者を募った。</li> <li>日野町地域プランの取り組みの中で、JA、生産者等と推進に向けた協議を重ねた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たにチェーンポットを導入する農家が2戸増加した。</li> <li>グッピーは秀品率が高く有望とし、栽培上の注意点を栽培指針に盛り込んだ。</li> <li>ピーマン農家が5戸増加したが、白ネギの応募はなかった。</li> <li>プランと連携した白ネギ、ピーマン、ブロッコリーの新規栽培者向け講習会を書面開催として実施した。</li> </ul>

<p>畜産の継続と発展を目指した担い手育成</p>	<p>和牛部会 (36戸) 酪農(3戸) 重点対象:1戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和牛:離乳期間及び哺乳量について改善した。また経営安定に向け、経営検討会を実施した。</li> <li>・酪農:繁殖成績改善のため牛群の血液検査を実施すると共に、夏季の牛舎内環境の改善を支援した。</li> <li>・3戸酪農家の経営継承について、それぞれ支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手と牛農家は離乳時の子牛の飼料摂取量が増加したと実感している。</li> <li>・βカロチンの欠乏が判明し、添加剤を添加することとなった。送風気にインバーターを取り付け、送風量を細かく制御できるようになった。</li> <li>・酪農家の経営継承が行われた。</li> </ul>
<p>梨の生産安定と産地振興(広域)</p>	<p>江府町農業公社 (品種:新甘泉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新甘泉ジョイント栽培モデル園13aの栽培管理指導</li> <li>・6月から着任した地域おこし協力隊1名の、梨の独立経営に向けた技術支援と研修計画に係る支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売実績10,003玉(計画比111%)と概ね計画通りの実績だった。</li> <li>・普及所の現地巡回や倉吉未来中心の梨づくり大学参加により、梨づくりの基礎は徐々に理解されてきた。</li> </ul>
<p>白ねぎ作業改善の推進</p>	<p>白ねぎ生産者 (37戸)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部地区の3普及所が連携して、止め土作業等の改善、腰痛体操の普及推進に取り組んだ。</li> <li>・収穫調整作業等の優良事例・工夫事例を調査収集するとともに栽培管理と作業負担の課題を把握するためのアンケート調査を実施した。</li> <li>これらの結果をとりまとめ、各町の生産部総会等にて情報提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・止め土用改良レーキ「ネグレキ軽量タイプ」が製品化され、販売が始まった。そして、止め土用新型培土器についても、水田土壌での実用性が確認でき、管内での普及が始まった。</li> <li>・工夫事例集の作成に向けて、昨年度と合わせて、栽培面積(10a、26a、110a)、労働力(家族2人、家族7人、家族2人と雇用5人)の異なる管内3農家の事例収集が出来た。</li> <li>・管内生産者全戸(37戸)にアンケート調査を行い、30戸(81%)から回答があり、生産管理や作業負担の課題、運動器疾患の状況等が把握できた。</li> </ul>
<p>日野町農業の振興～日野町地域プランの推進支援～</p>	<p>日野町地域プラン推進に関わる ・担い手農家、中核的農家39経営体 ・重要な地域、組織12組織</p>	<p>プランの基本方針「地域一体となって話し合い、助け合い、農地や地域を守っていく仕組みを作る」にそって、農業振興室等と連携し、町や担い手農家等の対応等を支援促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人・農地プランの推進</li> <li>・地域の担い手や農業・地域をサポートする体制の強化</li> <li>・核となる特産物開発の推進</li> <li>・中核的農家等の確保及び経営の維持・発展支援</li> <li>・堆肥を利用した土づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落訪問等の動きが活発化し、各集落で、守るべき農地の明確化が協議され、黒坂集落、三土集落を中心に実態に即して非農地化が進んだ。</li> <li>・核となる品目の白ねぎ、ブロッコリー、ピーマンについては、栽培講習の取組が、新規栽培者の増加、栽培面積の増加につながってきた。原木シイタケについても、地元企業と連携した原木確保の外部委託の取組や検証が始まった。</li> <li>・チャレンジ品目として取組を始めた青パパイヤについては、4月に奥ひの青パパイヤ研究会が設立され活動が活発化するとともに、販売、加工等の取組が広がった。</li> <li>・7月にストックヤードが完成し、堆肥が滞りなく散布できる体制が整ってきた。</li> </ul>

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	該当地区	援助指導状況	成果・結果
みんなでやらいや農業支援事業（がんばる農家プラン事業）	日南町 日野町 江府町	意欲的な農業者の農家プランの作成について支援した。	日南町で6件の局執行があった。
みんなでやらいや農業支援事業（がんばる地域プラン事業）	日野町	プランを推進する4つのPTと全体連絡会の委員として各普及員が参画し、各種提案や現地指導等を行い、取組みを進めた。	(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況に記載のとおり。
就農条件整備事業	日南町	新規就農希望の相談を受け、助言を行った。	日南町で2件の局執行があった。
集落営農体制強化支援事業	日南町 江府町	意欲的な集落営農のビジョンの作成について支援した。	日南町で3件、江府町で2件の局執行があった。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ

(令和4年5月31日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施	実施	事業費	事業量 計 画 (実績)	展 示 期 間	指 導 し た 期 間	支 払 額	支 払 年 月 日
			場 所	者 名						
農業改良普及事業	山間地における水稲多収品種の現地適応性の検討	水稲多収品種の生育および収量調査により現地適応性を確認	日南町 河上	(農)かわかみ	10,000円	10a (10a)	令和3年5月 ～ 令和3年10月	令和3年5月 ～ 令和3年12月	10,000円	令和4年3月23日

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし